

実施日：12月13日（3・4校時）	
教科等：家庭科	
取組名：ご飯とみそ汁を作って食べよう	
対 象：5年生	実施場所：家庭科室
ア ねらい 食事の必要性を理解し、協力して調理をしよう。	
イ 指導内容（指導路案）や取組の概要 [別紙①] 【児童・学級の実態】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 注意が散漫になり、集中して聞くことが苦手な児童がいる。 ・ 相手の立場や気持ちを押し量ることが苦手な児童がいる。 【「ご飯とみそ汁を作って食べよう」の学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ご飯、みそ汁のつくり方のコツを調べる。 ・ 時間配分を確認して、調理の順番を決める。 ・ みそ汁とご飯を協力して作る実習を通して、男女で役割を分けるのではなく、相談して役割を決め、協力して作業していくことの大切さを知る。 ・ 食事・運動・休養が誰にとっても大切なものであることを理解する。 ・ ワークシートを使ってふり返りを行う。自分の役割や友だちのがんばり・協力について考えさせる。 	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活でも男女で役割を分けるのではなく、協力して作業することを意識させる。 ・ 学級通信等で子どもたちの様子を伝える。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の中で、友だちの考えを尊重して行動できている場面をみんなで共有し合う。 ・ 終わりの会などで、お互いの良さを認め合う場を意図的に設け、認め合える学級風土を育てる。 	
カ 評価の方法 ワークシート	
キ 成果 男女で協力して作業することを通して、男女で協力して活動する良さに気付くことができた。	
ク 課題 自分の役割が終わった後に自分ができることを考え、自分から行動に移す力を育てていきたい。	